

『 檜山の歴史カルタ 』

若い頃から、校区を知ることの大切さを教えられた。自分の足で確かめ子ども達に伝えろ...と。その校長はしつこいくらい父母、地域にとけ込むことの大切さを説いた。また、先輩教師は率先して地域行事に参加、若い私たちにも参加を促した。

紹介する「歴史カルタ」の文言は、私が先輩からいただき大切にしているものの一つである。近隣町村の歴史、伝説等々の資料集めに苦心しながら、子ども達と創ったものだそうだ。

紹介は、学校毎の「カルタづくり」を提案するものではない。子ども達が住む地域や近隣区には、どんな話が伝わっているのか。どんな素材があるのか先生方は知っているだろうか。いや、知ってほしいのである。

先生方は一昔前に比べて多忙であることは承知している。移動先の勤務地では必ず町教委主催の町内めぐりがあるのも承知している。しかし、その時間で得られることは、その町のほんの一握りのことではない。

- | | | | | | |
|---|-----|--------|------------|--------|------------------|
| あ | ・・・ | あばれ者 | 岬のたこさん | どこへ行く | (乙部鮪の岬の大だこ伝説) |
| い | ・・・ | いおう山 | アイヌの血潮 | ヤマつつじ | (アイヌ民族コシャマインの戦い) |
| う | ・・・ | 姥神の | 社に伝わる | 青葉の笛 | (平家の名笛が藤枝家に) |
| え | ・・・ | 江差追分 | 民謡日本一と | 人がいう | (江差追分は民謡日本一) |
| お | ・・・ | 奥尻の | 賽の河原に | 花しょうぶ | (奥尻の名所「賽の河原」) |
| か | ・・・ | かもめ島 | 地から生えたか | 浮き島か | (江差の象徴：かもめ島) |
| き | ・・・ | 記念物 | ヒノキ・アスナロ | 有名だ | (檜山の呼称となったヒノキ) |
| く | ・・・ | 暗い夜 | 八郎兵衛じいさんの灯 | 夜もすがら | (乙部鮪の岬の伝説) |
| け | ・・・ | 慶喜温泉 | 春はハマナス | 咲きみだれ | (江差の奥座敷と呼ばれた) |
| こ | ・・・ | コシャマイン | 嘆きただよう | 上ノ国 | (コシャマインの戦い) |
| さ | ・・・ | 笹山に | 今も狐が | 住むという | (江差の笹山・元山) |
| し | ・・・ | 繁次郎 | 笠にかくした | くさい鳥 | (とんち名人江差の繁次郎) |
| す | ・・・ | 素晴らしい | 海底遺産だ | 開陽丸 | (軍艦：開陽丸発掘遺産) |
| せ | ・・・ | 瀬棚の海 | 三本杉の | 岩がある | (瀬棚景勝地：奇岩三本杉) |
| そ | ・・・ | その昔 | アイヌが築いた | チャシのあと | (先住民族の部落のあと) |

た	・・・	旅人に 雨を降らせる 赤坂の土	(武田軍とえぞ軍の流血)
ち	・・・	チリトリで すくえるほどの ニシン漁	(江差の五月は江戸にも...)
つ	・・・	妻の湯と 名づけし温泉 五厘沢	(弥四郎の妻：温泉で全快)
て	・・・	手と足の 動きはげしい さめおどり	(五勝手伝説の郷土芸能)
と	・・・	殿様は 小石を煮豆と アイヌをだます	(武田信広アイヌをだます)
な	・・・	夏祭り 神功山は 京美人	(江差山車：文化財指定)
に	・・・	にしん漁 今はまぼろし ゆめとなり	(江差の五月は江戸にも...)
ぬ	・・・	ぬらりくらり 島を七まき 主のたこ	(かもめ島の大だこ伝説)
ね	・・・	念仏を 唱えて通った 館の岩	(命がけの絶壁：念仏が不可欠)
の	・・・	野を渡る 怪しき光 泰平山	(大安在海岸の海神の光)

まだまだ続くが後は省略する。

私は管理職になって赴任した学校で、他のことより早めにやるよう心がけた仕事の一つがその学校の沿革誌を読むことだった。開校が早い学校は当然沿革の分量も多いが面白い。学校の歴史をどう学校経営に生かすかも経営課題にしてきた。

先生方には是非、勤務地である学校の校区の地理、歴史、文化、伝説、産業、人等を自らの足で探訪し、子ども達に還元してほしいものだ。